

## 平成23年度 京都市保健所予算概要

### 1 23年度当初予算

(単位 千円)

項 目	23年度	22年度	伸率
一 般 会 計	15,906,973	13,616,389	16.8%

[※ 精神保健福祉対策等 (4,721,420) (育成医療一部含む), 保健対策 (10,106,226), 生活衛生その他 (1,079,327) ]

(単位 千円)

項 目	23年度	22年度	伸率
特 別 会 計	4,932,945	17,001,441	△71.0%

[※ 病院事業 (4,866,000), 介護保険事業 (地域支援事業の一部) (66,945)]

※ 独立行政法人化に伴い, 平成23年度からは「市立病院機構病院事業債特別会計」

**※新規・充実事業の内容については, 次頁のとおり**

### 2 23年度5月補正

<一般会計>

#### **放射能測定検査機器の更新 (補正額: 15,000千円)**

衛生環境研究所に設置し, 食品の放射能測定に活用している上記機器 (平成3年度) 購入について, 検査時間をより短縮できる機器に更新するもの。

#### **【現在実施している食品への放射能検査】**

- 市場流入する農作物 (対象: 福島・茨城・群馬・栃木・千葉県産)
- 市場流入する水産物 (対象: 福島・岩手・宮城・茨城・千葉県から入荷)
- 依頼検査 (企業が自社製品の安全性を証明するために実施)
- 輸入食品 (チェリノブイリ原発事故を受け平成3年度から実施)

### 3 主な新規, 充実事業

#### (1) 新規事業

\* 実施時期は全て予定

<保健医療課>

【一般会計】

- **妊娠期からの子育て支援（こんにちはプレママ事業）** ㊤30,000千円  
母子健康手帳交付時に、全妊婦を対象に面接及び相談を行うほか、初妊婦及び継続的支援が必要な妊婦への家庭訪問を実施する。
- **働く世代への大腸がん検診推進事業** ㊤72,000千円  
40歳～60歳までの5歳刻みの節目年齢の市民に大腸がん無料クーポン等を送付し、検診希望者に対して、大腸がん検査キットを送付する。
- **歯科疾患実態調査** ㊤200千円  
本市の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料とするため、歯科疾患の実態調査を行う。（本調査は、6年に1回、厚生労働省が都道府県、政令市、特別区に委託し、実施するものである。）
- **食の安全・安心対策（体験！一日食品衛生監視員～食品工場へ行こう！！（仮称））** ㊤600千円  
市民（参加者）の方が、「一日食品衛生監視員」として、京（みやこ）・食の安全衛生管理認証制度を取得している食品工場の衛生管理取組状況や、衛生環境研究所等の本市施設における食品検査状況を見学し、食の安全性等について事業者や行政との意見交換（食の安全安心に係るリスクコミュニケーション）を行う。
- **動物愛護センター構想検討委員会（仮称）の設置** ㊤400千円  
家庭動物相談所の再整備を行うにあたり、（社）京都市獣医師会及び有識者等からなる検討委員会を設置する。  
【介護保険事業特別会計】
- **家族介護者向け医療的ケア・口腔ケア実践研修事業** ㊤3,000千円  
地域の高齢者が安心していきいきと健やかに暮らしていけるよう、より専門的かつ実践的な技能習得が可能な施設・設備を活用し、家族介護を担う市民等を対象とした研修事業を新たに実施する。  
【緊急雇用対策事業特別会計】
- **妊娠期から就学までの母子健康管理推進事業** ㊤26,600千円  
妊娠期及び乳幼児期の母子健康指導対象者の確実な把握と切れ目のない支援を行うため、対象者情報をデータ化する。

<医務審査課>

- **看護師確保対策事業（離職防止）** ㊤2,000千円  
現職看護師の資質向上と定着確保を目的として、新人看護師への技術面・精神面の支援、新人を教育する中堅看護師の管理能力の向上を目的とした、実技や有識者による講習等を含めた研修を実施する。

<生活衛生課>

- **温泉利用許可施設設備維持補修等助成事業** ㊤2,000千円  
平成23年度の入湯税導入に伴い、新たに鉱泉源の保護及び温泉施設の振興に資することを目的とする助成制度を創設する。

<障害保健福祉課>

- **京都市精神障害者地域移行支援事業** ㊤9,500千円  
地域での受入条件が整えば退院可能な精神障害者に対して、退院支援や地域生活支援を行う地域移行推進員を配置する。また、地域体制整備コーディネーターを配置し、事業の積極的な普及啓発を図るとともに、精神障害者が円滑に地域生活へ移行できるよう、関係機関の連携体制の整備を促進する。京都府から事業を引き継ぐもの。

## (2) 充実事業

<保健医療課>

【一般会計】

- **不妊治療助成事業** ⑳177,927千円 → ㉓299,332千円  
特定不妊治療費助成事業（国制度）について、初年度の助成回数を拡充するとともに、不妊治療助成事業（府制度）について、助成額及び助成対象を拡充する。
- **妊婦健康診査** ㉑1,154,017千円 → ㉓1,031,294千円  
妊婦健康診査の標準的な検査項目として、クラミジア抗原検査を追加し、検査費用を公費負担する。  
※ 23予算が22予算より減額となっているのは、実績に応じた予算削減を行ったため。
- **食育推進事業（ホームページでの総合的な食の情報発信）** ㉑12,022千円 → ㉓11,022千円  
「京都市食育推進協議会」との連携のもと、料理レシピの紹介、健康づくり、地産池消の推進、環境負荷の軽減、食文化の継承、食品の安全性など、ホームページで「食」に関する様々な情報発信を行い、家庭や地域における主体的な食育の推進を支援する。  
※ 食育推進事業全体の23予算は、22予算から減額（22年度にプラン策定経費を含んでいたため）
- **食育指導員養成事業** ㉑1,000千円 → ㉓1,800千円  
平成21年度及び22年度に、地域に密着した食育活動を行う「食育指導員」の養成をモデル実施（2ヵ年で56名養成）した成果を踏まえ、今後5年間で300人養成することを目標にする。
- **たばこ対策推進事業** ㉑0千円 → ㉓8,467千円  
たばこ対策行動指針（仮称）の策定、中学生向け喫煙防止教育の実施等により、たばこ対策を強化する。  
※ 従来「健康づくりサポート事業」に含まれていたたばこ対策経費を23年度から単独事業としたもの
- **京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業** ㉑2,668千円 → ㉓7,568千円  
京都市民健康づくりプラン（平成24年末まで）について、20年3月の中間評価及び見直しを踏まえ、最終評価のための実態調査・分析を行い、24年度の計画見直しにつなげる。
- **日本脳炎予防接種** ㉑128,896千円 → ㉓329,396千円  
現在、被接種者（の保護者）から徴収している接種料（1回につき300円）を無料にする。また、平成17年度から21年度の間に積極的勧奨を受ける機会を逃した方への対応として、平成22年度以降順次、積極的勧奨を再開する対象者を拡大する。

<医務審査課>

- **急病診療所等運営** ㉑369,265千円  
平成23年度から京都府医師会に事業を委託し、これに合わせて、夜間の診療体制を充実するため、土曜日の小児科深夜帯診療及び内科の土曜・休日等の準夜帯診療を実施する。

<こころの健康増進センター>

- **精神医療対策（指定医の診察、休日精神科医療体制の確保）** ㉑36,097千円 → ㉓56,097千円  
精神保健福祉法第24条通報に係る夜間移送体制の実施（①精神保健指定医による診察のための移送、②職員の立会い、③措置入院となった場合の処分内容等の告知）